

西宮市貝類館
10年間のあゆみ
(平成21年度～30年度)



令和2年3月

西宮市

はじめに

西宮市貝類館は、貝類研究の第一人者である黒田徳米博士の貝類標本及び関連資料を核に平成11年5月7日に開館し、平成31年5月7日で開館20周年を迎えました。

10周年を迎えた平成21年には、開館までの経緯から平成20年度までをまとめた「10年間のあゆみ」を刊行しました。

今回の「10年間のあゆみ」は、平成21年度から平成30年度までの取り組みをまとめています。

貝類館は貝類の調査・研究、標本資料の収集・保管、展示、教育普及、出版など博物館としての多様な活動を行っています。また、環境学習の拠点としての役割も担っています。

平成27年2月には、貝類館の開設に尽力された菊池典男先生のご遺族から約1万6千ロットに上る菊池コレクションの寄贈を受け、貝類館はそれまでの貝類標本と合わせ約8万9千ロットもの貴重な貝類標本を収蔵することとなりました。

また、開館以来の積み上げた実績が評価され、平成28年2月18日に貝類館はこれまでの博物館類似施設から博物館法に基づく博物館相当施設として指定を受けました。

平成29年4月から、継続して入館者を対象にアンケート調査を実施していますが、それを見ると「たいへん楽しめた」が約87%、「少し楽しめた」が約13%で、入館された方のほぼすべての方が満足されています。

このように貝類館は質・量ともに着実に歩みを進めています。

この冊子では、この10年間の取り組みをできる限り分かりやすく、簡潔に取りまとめました。

市民の皆様に貝類館のことを今まで以上に知っていただき、身近で魅力的な施設として今一度足を運んでいただければと願っています。

今後も、貝類館は貝類等を通じて市民の教養及び文化の向上に資するよう努めてまいりますので一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

令和2(2020)年3月

西宮市貝類館

目次・構成

第1 施設の概要	1	2 学習支援・連携事業	18
1 設立目的	1	(1)市民の学習支援	
2 名称、所在地等	1	(2)館内案内	
3 施設の規模等	1	(3)博物館実習生・研修生の 受入れ	
4 博物館相当施設	1	(4)講師派遣依頼への対応	
第2 主な取り組み	2		
第3 管理運営	4	第6 調査研究活動	21
1 組織及び職員数	4	1 高田良二(学芸員)	21
2 西宮市貝類館運営委員会	4	2 渡部哲也(学芸員)	23
(1)主な審議内容		第7 資料の収集、保管	25
(2)運営委員の状況		1 標本	25
3 決算状況	6	(1)平成21年度以降の主な 寄贈者	
4 入館者	7	(2)標本数	
(1)入館者数の推移		(3)貸出の状況	
(2)館内入館者の構成比		2 図書	28
(3)入館料の区分		第8 出版	28
(4)入館者アンケート		1 出版物	28
第4 展示事業	12	(1)研究報告	
1 常設展示	12	(2)収蔵標本目録	
2 特別展	12	(3)海辺からのたより	
3 企画展	13	(4)20周年記念誌	
4 館外展示	14	2 販売状況	30
第5 教育普及事業	15	第9 広報	31
1 貝類館主催事業	15	1 ホームページ	31
(1)ワークショップ		2 情報誌等への情報提供	31
(2)観察会		※ 西宮市貝類館リニューアル報告	34
(3)講座		※ 西宮市貝類館条例・施行規則	42
(4)実習			
(5)同定会			
(6)その他			

第1・・・施設の概要

1・・・設立目的

貝類に関する調査・研究、標本・資料の収集・保管及び展示、教育等を行い、もって市民の教養及び文化の向上に資することを目的とする。また、貝という生き物を通して多様な世界を学び、自然の不思議、環境の大切さを理解するための環境学習の場としての役割を担う。

2・・・名称・所在地等

名 称:西宮市貝類館 所在地:西宮市西宮浜4丁目13番4号

電 話:0798-33-4888 F A X:0798-33-5885

E-mail: nishikai@nishi.or.jp ホームページ:http://shellmuseum.jp/shell_db/

3・・・施設の規模等

(本棟)

構造:鉄筋コンクリート造り(一部鉄骨造り)2階建て

建築面積:432.07 m²

延床面積:590.98 m²(1階 427.68 m² 2階 163.30 m²)

(1階)展示室 270 m²、学習室 50 m² (2階)事務所兼研究室 142 m²

竣工年次 平成 11(1999)年 5 月 7 日

(収蔵棟)

構造:鉄筋コンクリート造り 平屋建て

建築面積:21.38 m²

延床面積:21.38 m²

竣工年次:平成 20(2008)年 1 月 31 日

4・・・博物館相当施設

西宮市貝類館は、法的には平成 11 年 5 月の開館から博物館類似施設の位置づけであった。しかし、この間資料の収集保管、展示、西宮の自然や貝類についての調査、研究そして教育普及といった実績を積み上げ、博物館にふさわしい陣容を整えてきた。

こうしたことから平成 28 年 1 月 12 日付で博物館法に基く申請を行い平成 28 年 2 月 18 日に兵庫県教育委員会から博物館相当施設(注)としての指定を受けた。

(注) 博物館法で指定される博物館には登録博物館と博物館相当施設があり、どちらも博物館として実質的に違いはない。しかし、公立施設の場合、登録博物館は教育委員会の所管施設に限られるという規定があるため市長部局の所管である当館は博物館相当施設となっている。

第2・・・主な取り組み

日程	項目	説明
H21.5.7	10周年記念事業の実施	貝類館開館10周年を記念し、5月3日～5日の3日間を中心に下記のとおり記念事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・記念冊子「貝はともだち」のイラストの原画展 ・貝を使った万華鏡展 ・貝のプレゼント ・第24回貝の館のサロンコンサート ・貝に関する講演会 ・貝とビーズを使ったアクセサリーづくり ・バルーンパフォーマンス
H22.11.21	入館者数20万人を突破	開館以来の入館者数が20万人を超えた。
H23.4～	業務委託の拡充	貝類館における調査研究や教育・普及活動などの機能を強化するため、業務全体を見直し、受付業務だけでなく講座、イベントなどの企画・実施業務もあわせて委託することとした。
H23.4～ H24.3	収蔵資料データベースの構築	収蔵資料(標本、図書)の効率的な管理を行うとともに、一層有効に活用されるよう収蔵資料のデータベースを構築した。
H23.12	書架の増設	2階の事務所に設置している書架を固定式から移動式に変えるとともに、4棚から6棚に増設した。
H24.7～	子ども貝博士認定制度の実施	こどもが貝への関心を高め、貝類館に親しみを持つよう、貝類館ホームページにキッズコーナーを設け、クイズに正解したこどもを貝博士に認定する制度を開始した。
H24.7	収蔵資料データベース検索システム	構築した収蔵資料データベースの検索システムを貝類館ホームページに追加した。
H25.4～	新たな入館料減免制度の導入	高齢者や障害のある人などが貝類館をより利用しやすくなるよう新たな減免制度を設けた。 減免の割合:半額(大人100円、子ども50円) 対象:西宮市内在住の65歳以上の方(本人のみ)、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳、戦傷病者手帳所持者(本人のみ)
H25.4～	学習シートの配布	来館した小中学生が、展示に興味を持ち、貝への関心が高まるよう、展示の中から答えを見つけるクイズを印刷したシートの配布を開始した。
H26.5.7	15周年記念貝類館無料開放	貝類館開館15周年を記念して無料開放日とした。
H27.2.18	菊池コレクションの寄贈受	貝類館の開設に尽力された菊池典男氏のご遺族より氏のコレクション約1万6千ロットの寄贈を受けた。

日程	項目	説明
H27.3.19 ～4.14	菊池典男コレクション展	上記受贈を記念して「菊池典男コレクション展～西宮に生まれ、貝を追い求めた生涯～」を開催した。
H28. 2.18	博物館相当施設の指定	これまでの資料の収集保管、展示、西宮の自然や貝類についての調査研究、そして教育普及といった西宮市貝類館が積み上げてきた実績が評価され、兵庫県教育委員会から博物館相当施設としての指定を受けた。
H28.4 ～29.3	菊池コレクションの分類整理及び保管	寄贈を受けた菊池コレクションの分類整理を行うとともに、1階展示室の西側壁面に、保管のための収納庫を設置した。
H28.10.14	入館者数30万人を突破	開館以来の入館者数が30万人を超えた。
H29.3.8 ～ 3.22	貝類館リニューアル	菊池典男コレクションの寄贈を受けたことを機に、氏を顕彰するコーナーの新設と西宮の海辺のコーナーの拡充を内容とするリニューアルを行った(参照:p.34 ※貝類館リニューアル報告)。
H29. 3.25	貝類館リニューアル記念イベントの実施	貝類館のリニューアルを記念して、学芸員によるギャラリートーク、音楽を通して展示や博物館、さらに地域や歴史・環境にまで耳を澄ます新しい形のコンサートを実施した(参照:p.34 ※貝類館リニューアル報告)。
H30. 3. 7	スポット展示コーナーの整備	これまで閉鎖していた1階展示室の旧「西宮の海辺のコーナー」を様々な展示に活用できる「スポット展示コーナー」として整備した。
H30.10.11 ～11.30	マーメイド号の補修及び塗装	中庭に設置している堀江謙一氏寄贈のマーメイド号について、キャビン入口の差板の一部を補修するとともに船体の塗り替えを行った。
H31.1.15 ～2. 8	空調機器の取り換え	耐用年数を超過した貝類館の室外機、室内機等全部の空調機器を取り換えた。
H31.1.15 ～3.20	カタツムリ展示のリニューアル	一方向からだけでなく、どの方向からでも見るできるよう、木の葉形の展示台や円筒形の飼育ケースを採用したカタツムリ展示「カタツムリウム」を設置した。

第3・・・管理運営

1・・・組織及び職員数(平成 31 年 3 月 31 日現在)

所 属:西宮市産業文化局文化スポーツ部文化振興課

職 名	職員数
課長	1名
係長	2名
副主査	1名
主事	1名
顧問	1名
学芸員	2名
嘱託員	2名

2・・・西宮市貝類館運営委員会

西宮市貝類館の運営並びに貝類資料の収蔵及び活用について指導助言等を得るため、外部有識者で組織される「西宮市貝類館運営委員会」を附属機関として設置しており、平成 21 年度から 30 年度の間計 16 回を開催している。

これまでの主な審議内容及び運営委員会の状況は次の通りである。

(1)・・・主な審議内容

- ・貝類館の事業計画、実施事業について
- ・貝類館に指定管理者制度を導入することについて
- ・貝類館を「博物館類似施設」から「博物館相当施設」にすることについて
- ・貝類館委託業務の拡充について
- ・収蔵資料の検索・閲覧システムの構築について
- ・「大山 桂」貝類文献の寄贈受について
- ・収蔵標本及び収蔵図書データベースの一般市民の利用方法について
- ・受付、事業企画等業務委託契約の内容について
- ・貝類館のリニューアルについて
- ・今後貝類館が力を入れる分野、アピールの方法等について
- ・リニューアル後の展示活用について
- ・利用者増に向けて

(2)・・・運営委員の状況

氏名	任命時の職歴	平成 21. 9.30～ 23. 9.29	平成 23. 9.30～ 25. 9.29	平成 25. 9.30～ 27. 9.29	平成 27. 9.30～ 29. 9.29	平成 29. 9.30～ 令和元. 9.29
松本源也	西宮自然保護協会副会長	委員長				
松隈明彦	九州大学総合研究博物館教授	副委員長				
鈴木章司	阪神貝類談話会会長	委員				
金田弘司	神戸市立須磨海浜水族園園長	委員				
山西良平	大阪市立自然史博物館館長	委員				
亀崎直樹	神戸市立須磨海浜水族園園長		委員			
大原健司	阪神貝類談話会会長			委員		
阿部俊彦	元西宮市総合企画局				委員長	
近藤高貴	大阪教育大学教授(個体群生態学)				副委員長	
奥山清市	伊丹市昆虫館館長				委員	
増田 修	姫路市水産漁港課係長(水産担当)				委員	
吉田裕之	神戸市立須磨海浜水族園園長				委員	

3・・・決算状況

平成 21～30 年度までの貝類館の決算の状況は次のとおりである。

項 目		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
	報酬	0	0	0	0	0	0	100	50	124	62	
	報償費	2,212	335	252	94	147	70	70	1,411	190	188	
	旅費	0	103	77	142	94	18	69	76	128	179	
	需用費	4,579	3,134	2,425	1,961	2,127	1,816	2,170	3,558	1,906	1,944	
	内訳	消耗品費	1,248	1,009	626	715	742	768	650	726	954	470
		食糧費	0	1		1	1	0	1	1	1	1
		印刷製本費	2,964	1,423	1,394	773	639	651	560	909	519	1,355
		修繕料	367	701	405	472	745	397	959	1,922	432	118
歳	役務費	264	344	361	381	388	366	392	386	395	391	
	内訳	電話・回線使用料	134	125	153	157	161	150	157	167	198	187
		郵便料	0	90	80	96	99	88	107	93	68	78
		損害保険料	130	129	128	128	128	128	128	126	125	126
		手数料等	0	0				0	0	0	4	0
出	委託料	7,187	6,165	42,166	13,260	12,076	12,465	12,502	21,248	12,266	13,072	
	使用料及び賃借料	150	107	107	315	313	308	314	314	314	318	
	工事請負費	0	0	0	0	0	0	0	0	387	493	
	備品購入費	235	216	2,774	159	492	466	225	1,158	92	92	
	負担金及び交付金	0	0	13	13	20	17	17	90	60	60	
	合 計 (A)	14,627	10,404	48,175	16,325	15,657	15,526	15,859	28,291	15,862	16,799	
	貝類館観覧料	1,159	1,193	1,001	1,133	1,237	1,177	1,105	1,172	1,142	963	
	講座受益者負担金収入	573	774	454	486	375	346	416	481	496	411	
歳	収蔵目録他売捌代金	666	207	295	202	250	130	132	130	140	78	
	海辺からのたより広告収入	21	5	10	10	10	10	10	10	10	10	
	ふるさと雇用再生特別基金	0	0	30,186	0	0	0	0	0	0	0	
	住民生活に光をそそぐ交付金	0	0	2,517	0	0	0	0	0	0	0	
入	その他	9	10	11	4	0	0	0	0	70	50	
	合 計 (B)	2,428	2,189	34,474	1,835	1,872	1,663	1,663	1,793	1,858	1,512	

注1)平成 23 年度決算には、次の経費等を含む。

- ・委託業務の対象拡大(講座企画及び受付等業務)に伴う経費増(委託料 4,576 千円)
- ・臨時的経費として、ふるさと雇用再生特定基金を活用した収蔵資料整理及び公開活用業務整備事業経費(委託料 30,186 千円)
- ・臨時的経費として、住民生活に光をそそぐ交付金を活用したシステム収納庫増築経費(備品購入費 2,517 千円)

注 2) 平成 28 年度決算には、臨時的経費として次の経費を含む。

- ・寄贈を受けた菊池典男コレクションの資料整理協力謝礼(報償費 803 千円)
- ・リニューアル展示パネル原画作成・監修謝礼(報償費 173 千円)
- ・リニューアル記念イベント演奏謝礼(報償費 334 千円)
- ・展示リニューアル経費(委託料 9,105 千円)

4・・・入館者

(1)・・・入館者数の推移

平成 21～30 年度の年度ごとの入館者数は、つぎのとおりである。

開館以来の入館者累計(館外活動参加者を含む)が平成 22 年 11 月 21 日に 20 万人を、平成 28 年 10 月 14 日には 30 万人を突破した。

区分 年度	館 内									館 外 活 動 参 加 者	合 計	
	大 人				小 人							
	有 料		無 料	小 計	有 料		無 料		小 計			合 計
	一 般	団 体			一 般	団 体	減 免 対 象 者 ※	幼 児				
H11 ～20	72,906	7,553	15,514	95,973	6,665	365	47,587	21,990	76,607	172,580	—	172,580
H21	5,148	421	1,627	7,196	600	32	3,822	2,587	7,041	14,237	2,403	16,640
H22	5,366	280	1,789	7,435	745	7	4,186	2,577	7,515	14,950	1,716	16,666
H23	3,902	1,068	1,346	6,316	461	49	3,787	1,715	6,012	12,328	1,150	13,478
H24	4,111	1,669	1,591	7,371	348	115	4,513	2,289	7,265	14,636	1,774	16,410
H25	4,875	1,410	1,550	7,835	478	177	4,392	2,688	7,735	15,570	2,835	18,405
H26	4,341	1,886	1,487	7,714	328	137	3,931	2,277	6,673	14,387	2,434	16,821
H27	3,774	2,199	1,122	7,095	317	152	3,915	2,173	6,557	13,652	3,952	17,604
H28	4,013	2,410	1,319	7,742	289	105	3,620	2,196	6,210	13,952	3,931	17,883
H29	3,857	2,373	1,184	7,414	312	146	3,939	2,093	6,490	13,904	3,550	17,454
H30	3,304	2,054	1,011	6,369	248	111	3,261	1,760	5,380	11,749	2,696	14,445
合計	115,597	23,323	29,540	168,460	10,791	1,396	86,953	44,345	143,485	311,945	26,441	338,386

※減免対象者・・・県内の小中学生が博物館などを無料で利用できるよう兵庫県が発行している「ひょうごっこコロカード」や
神戸市、神戸市隣接市町及び趣旨に賛同する市町の域内で小中学生が無料で施設を利用できるよう神戸市
が発行している「のびのびパスポート」の提示者等

(2)・・・館内入館者の構成比

平成 11～20 年度までの 10 年間と平成 21～30 年度までの構成比を比較するとつぎ

のとおりである。

大人の入館者が約 4%減り、その分小人の入館者が増となっている。内訳としては、大人では「有料・一般で約 11%の減」「有料・団体で約 6%の増」であり、小人では「無料・幼児で約 4%の増」となっている。

H11～20	入館者数	72,906	7,553	15,514	95,973	6,665	365	47,587	21,990	76,607
	構成比	0.422	0.044	0.090	0.556	0.039	0.002	0.276	0.127	0.444
H21～30	入館者数	42,691	15,770	14,026	72,487	4,126	1,031	39,366	22,355	66,878
	構成比	0.306	0.113	0.101	0.520	0.030	0.007	0.282	0.160	0.480

(3)・・・入館料の区分

入館料の区分は、次の通りである。

貝類館をより広く利用してもらえるよう、平成 25 年 4 月から入館料を半額とする新たな制度(①-イ)を導入した。

ア・・・有料・一般

a. 一般料金

大人 200 円、小中学生 100 円、幼児(小学生未満)は無料

b. 半額

入館料を半額とするもの(大人 100 円、小人 50 円)で、対象者は次の通りである。

- ・市内在住の65歳以上の方本人(要証明書)
- ・身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳・戦傷病者手帳の提示者本人および本人の介助者(提示者本人1名につき介助者は1名まで)

イ・・・有料・一般

入館料を 2 割減額するもの(大人 160 円、小人 80 円)で、対象は次の通りである。

- ・20 名以上の団体に来館したもの
- ・各団体割引適用対象者証明証を提示したもの(平成 31 年 3 月時点の詳細は次の通り)

割引証の種類	対象者	備考
JAFカード	本人含め6名まで	
HISクーポン	本人含め6名まで	
Relo Club	本人含め5名まで	
西宮チケットクラブ	本人含め5名まで	
TOYRO倶楽部	本人及びその家族	
STACIA	本人	
Benefit Station	本人	
アミティ友の会	本人	
NIA(西宮市国際交流協会賛助会)	本人	
あにあん倶楽部	本人含め5名まで	平成27年1月より

ウ・・・無料

入館料を免除するもので、主な対象は次の通りである。

- ・市主催事業または本市が共催して実施する事業のスタッフ・講師など
- ・小中学校及び小学校以下の施設(幼稚園・保育所)のクラス単位の来館者
- ・各種福祉施設利用者(デイサービス利用者を含む)による施設単位での利用
- ・研究目的のために来館した者
- ・新聞記者、フリーペーパー関係者、業務提携企業関係者
- ・次の証を提示したもの

割引証の種類	対象者	備考
のびのびパスポート	本人	
ココロンカード	本人	
こども貝博士 会員証	本人	
ひょうごカルチャーパス	本人	
兵庫県博物館協会 会員証	本人	
日本博物館協会 会員証	本人及び同伴者1名	平成27年4月より
みなとの博物館ネットワーク・フォーラム	本人及び同伴者2名	平成27年4月より

(4)・・・入館者アンケート

入館者を対象にアンケート調査を実施しているが、平成 30 年の状況は次の通りである。

質問1「来館者の住所地」については、西宮市内が約 52%、兵庫県外からが約 17%となっており、比較的遠方からの来館者も多い。

質問 2-1 の「年齢」については、「中学生～19 歳」「20 代」の利用がほとんどなく、「小学生」と「40～50 代」がそれぞれ約 26%、「30 代」が約 18%、「5 歳以下」が約 16%となっている。

質問 2-2 の「性別」では、男性 44%、女性 56%である。

質問3の「展示」については、「とても楽しかった」と「少し楽しかった」を合わせると 100%となり回答者全員が展示内容に満足していることが分かる。

質問4の「貝類館を何で知ったか」では、貝類館ホームページが約 36%と抜きんでており、続いて市政ニュース 15%、チラシ 10%となっている。

最後の質問 5 の「来館の回数」については、初めて貝類館を訪れた人が 62%であるものの、4 回以上の人 が 26%もあった。

質問1・・・ お住まいはどちらですか？

	(1)西宮市	(2)芦屋市	(3)神戸市	(4)尼崎市	(5)宝塚市	(6)1～5以外の兵庫県内	(7)兵庫県外	合計
回答数	409	34	89	46	33	41	131	783
(%)	52.2%	4.3%	11.4%	5.9%	4.2%	5.2%	16.7%	100%

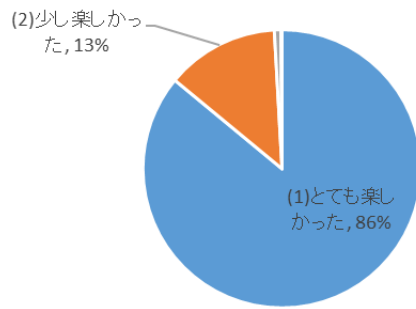
質問 2-1・・・ 年齢を教えてください

	5歳以下	小学生	中学生～19歳	20代	30代	40～50代	60代以上	合計
回答数	291	494	40	77	338	480	156	1876
(%)	15.5%	26.3%	2.1%	4.1%	18.0%	25.6%	8.3%	100%

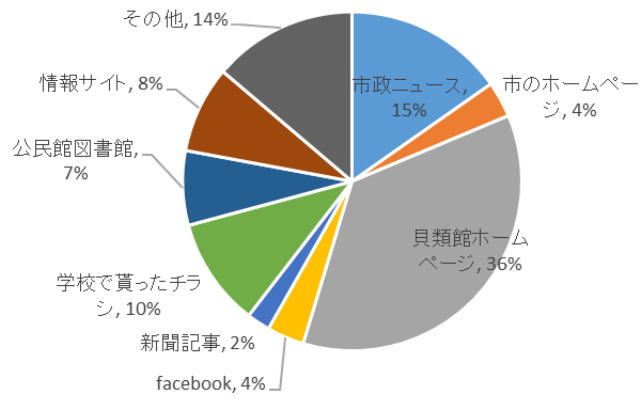
質問 2-2・・・ 性別を教えてください

	(1)男性	(2)女性	合計
回答数	814	1037	1851
(%)	44.0%	56.0%	100.0%

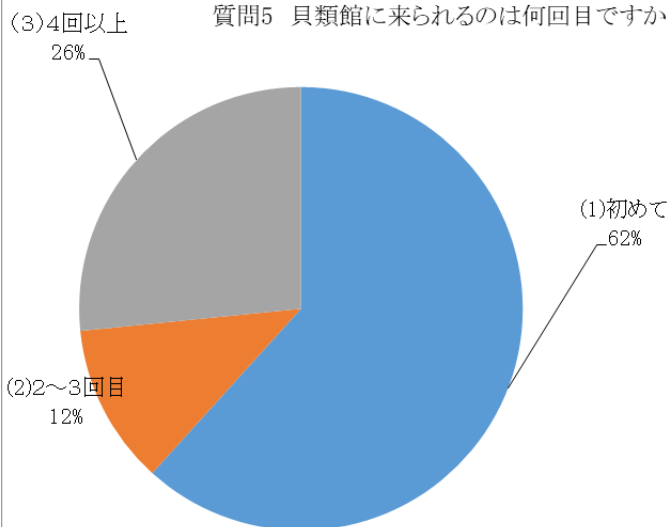
質問3 本日の展示・イベントはどうでしたか？



質問4 本日の展示・イベントはどうやってお知りになりましたか？



質問5 貝類館に来られるのは何回目ですか？



第4・・・展示事業

1・・・常設展示

1階、270㎡の展示室に約2,000種、5,000点の貝や生態展示としてオウムガイ(注1)、クリオネ及びカタツムリを常設展示している。

- ・平成24年度、カタツムリの種類や数を増やすなど展示の充実を図った。
- ・平成28年度、平成11年5月の開館以来、本格的な変更を加えていなかった常設展示について、貝類館の開設に功績のあった故菊池典男氏のコレクションの寄贈を受けたことを機に、リニューアルを行った(リニューアルの詳細については、p.34 ※貝類館リニューアル報告を参照)。
- ・平成29年度、リニューアルに伴い閉鎖していた旧「西宮の海辺のコーナー」を様々な展示に活用できる「スポット展示コーナー」として整備した。
- ・平成30年度、撤去したオウムガイの水槽跡に新たにカタツムリ専用の展示施設を整備した。

(注1)オウムガイについては、ワシントン条約(絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約)が改正されたことにより、平成29年1月2日以降生きたオウムガイを入手することができなくなったため、平成30年9月より生態展示を行っていない。

2・・・特別展

年1回、常設展示とは異なり、特定のテーマについて普段は見ることのできない収蔵標本や館外資料などを活用しながら、より深く掘り下げた展示を行う特別展を開催している。

平成21～30年度の特別展の内容は次のとおりである。

期 間	内 容
平成21.10.8～11.24	第11回 イモガイの世界ー毒を持った美しい貝たちー
平成22.10.14～11.30	第12回 世界のカタツムリ展 海から陸へ進化した貝の魅力
平成23.10.13～11.23	第13回 驚異の生態！ 寄生・共生する貝、される貝
平成24.10.18～11.27	第14回 太古の生物！ オウムガイ・アンモナイト展
平成25.10.17～11.26	第15回 西宮の海も…大阪湾 大阪湾の貝と海岸動物
平成26.10.16～11.25	第16回 世界のアッキガイ展-多種多様な形をしたホネガイの仲間たち-
平成27.10.15～11.24	第17回 大阪湾の宝島 成ヶ島の自然
平成28.10.20～11.23	第18回 驚異の螺旋生物 魅力あるカタツムリの世界
平成29.10.19～11.21	第19回 干潟のいきものたち
平成30.10.18～11.20	第20回 南方熊楠貝類コレクション展

3・・・企画展

特別展より規模は小さいが、その時々の特ピックスを題材に、随時企画展を行っている。

次の通り、新春の干支の動物に姿・形が似ている貝や、和名などにその名前がついている貝を展示する「干支に因む貝類」展やその他の企画展を開催した。

期 間	内 容
平成21. 4.18～ 5.31	貝類館10周年記念誌 貝はともだちで使用された原画展
平成21. 7.21～ 8.31	貝類館10周年記念誌 貝はともだちで紹介された貝やカタツムリの展示
平成21. 8. 1～ 8.31	海の甲子園 協賛イベント 「新西宮百景」特別展
平成22. 1. 4～ 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－寅」
平成22. 7.20～ 8.31	スリランカの貝と写真展
平成23. 1. 4～ 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－卯」
平成23.12.22～24. 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－辰」
平成24. 9. 1～10. 9	千足操三 回顧展
平成24.12.20～25. 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－巳」
平成25. 3. 1～ 4. 2	世界の貝切手展
平成25. 4. 4～ 5.28	南三陸町自然環境活用センター復興支援展
平成25.10.24～11.10	菊の名にちなむ貝展
平成25.12.19 ～26. 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－午」
平成26. 3. 6～ 4. 8	山本愛三 回顧展
平成26. 4.10～ 5. 6	貝を使った万華鏡展
平成26. 9.18～10.14	貝の缶詰展
平成26.12.18 ～27. 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－羊」
平成27. 3.19～ 4.14	菊池典男コレクション展
平成27.12.26 ～28. 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－申」
平成28. 2.25 ～28. 3.29	海岸生物写真展
平成28.12.22 ～29. 1.31	新春企画展「干支に因む貝類－酉」
平成29. 6. 1～12.20	報告「サザエに正しい学名が見ついた… サザエは新種だった！」
平成29.12.22 ～30. 1.30	新春企画展「干支に因む貝類－戌」

4・・・館外展示

できるだけ多くの人に貝類館を知ってもらうとともに、貝への関心が高まるよう、館内だけでなく他の博物館などの公的施設、民間施設で出張展示を行っている。その状況は次の通りである。

期 間	イ ベ ント 名 等	場 所 等
平成21. 7.11～ 7.14	西宮市貝類館の貝	西宮市子育て総合センター
平成21.11. 1	ひとはくフェスティバル09	兵庫県立人と自然の博物館
平成22. 3. 7	スマスイボランティアフェスタ	神戸市立須磨海浜水族園
平成22. 7.10～ 7.15	西宮市貝類館の貝	西宮市子育て総合センター
平成22. 9.26	海辺のひろっぱフェスタ2010	御前浜・香櫨園
平成22.11. 7	ひとはくフェスティバル	兵庫県立人と自然の博物館
平成23. 7.12～ 8.14	西宮市貝類館の貝	西宮市甲山自然環境センター
平成23. 7. 1～ 7.29	世界の美しい貝	尼崎市市内ホテルポップイン
平成23.11. 6	ひとはくフェスティバル	兵庫県立人と自然の博物館
平成24. 3. 4	スマスイボランティアフェスタ	神戸市立須磨海浜水族園
平成24. 8.26～9.11	西宮市貝類館の貝	ららぽーと甲子園
平成24.11. 4	ひとはくフェスティバル	兵庫県立人と自然の博物館
平成24.11.10～11.11	大阪自然史フェスティバル	大阪自然史博物館
平成25. 3. 3	スマスイボランティアフェスタ	神戸市立須磨海浜水族園
平成25.11. 4	ひとはくフェスティバル	兵庫県立人と自然の博物館
平成26. 3. 2	スマスイボランティアフェスタ	神戸市立須磨海浜水族園
平成26.11.15～11.16	大阪自然史フェスティバル	大阪自然史博物館
平成26.11.30	西宮市大学交流祭	アクタ西宮
平成27.10. 3～10. 4	ひょうごミュージアムフェア	スペースシアター
平成27.11.29	西宮市大学交流祭	アクタ西宮
平成28. 2.11	共生のひろば	兵庫県立人と自然の博物館
平成28. 3. 6	スマスイボランティアフェスタ	神戸市立須磨海浜水族園
平成28. 7.27～ 8. 2	西宮阪急自由研究スクール	阪急西宮ガーデンズ
平成28.10. 1～10. 2	ひょうごミュージアムフェア	スペースシアター
平成28.11.19～11.20	大阪自然史フェスティバル	大阪自然史博物館
平成29.11.18～11.19	大阪自然史フェスティバル	大阪自然史博物館

第5・・・教育普及事業

1・・・貝類館主催事業

環境学習、社会教育の一翼を担う博物館として、市民の多様な学習要求に応えるために、各種のプログラムを企画・実施している。

(1)・・・ワークショップ

子どもや家族連れを対象に貝を使ったものづくりを体験し、成果物を持ち帰るプログラムを館内だけでなく館外でも行っている。

より貝類館に親しんでもらえるよう、平成25年度より毎週第2土曜日を館内プログラムの日とし、予約なしで来館者が自力で簡単に作品が作れるワークショップを開催している。

(主なプログラム)

- ・オリジナルカタツムリ
- ・シェルストラップ
- ・貝類標本
- ・オリジナル万華鏡
- ・アンモナイトレプリカ
- ・貝と粘土の工作教室
- ・2枚貝のキーホルダー
- ・ドアプレート
- ・松ぼっくりクリスマスツリー
- ・クリスマスリース など

(2)・・・観察会

自然に親しみ、自然の大切さを理解する学習の一環として観察会を行っている。22年度までは和歌山市加太海岸を観察地としていたが、23年度からは市内の山や海岸に場を移して実施している。夙川や有馬川、広田神社などでも行ってきたが、近年は夙川河口、甲子園浜、甲山周辺が中心となっている。

また、大阪湾生き物一斉調査プログラム実行委員会による大阪湾生き物一斉調査には、貝類館として24年度より参加している。

(3)・・・講座

これまで、「食育講座」のほか、適宜「講演会」を開催してきたが、27年度より「貝類館セミナー」「特別展ガイドツアー(講演会)」を行っている。

また、29年度からは新たに甲子園浜自然環境センターと共催で「甲子園浜セミナー」を実施している。

(4)・・・実習

「ちりめんモンスターを探せ」に加え、23年度から市民を対象に2枚貝や「イカ解剖」を行い26年度より教育連携の視点から新たに「理科教員を対象とした解剖」を実施している。

また、29年度から新たに「プランクトンを見よう」を行っている。

(5)・・・同定会

毎年1回夏休みに海で見つけた生き物や植物の名前を先生と一緒に調べる採集生物相談教室を開催してきた。しかし、同定は普段から要望があればその都度行っており、また他の施設でも同じ時期に同様の相談教室を開催していることから、事業全体を見直す中で29年度をもって廃止した。

(6)・・・その他

上記以外に次のような作品展、プログラムを実施した。

(主な作品展)

- ・貝と粘土の工作教室作品展
- ・七夕まつり
- ・貝の塗り絵展
- ・貝を使った万華鏡展 など

(主なプログラム)

- ・マーメイド号探検隊
- ・貝すくいに挑戦
- ・夏休みクイズラリー
- ・タッチングプール
- ・貝の館のコンサート
- ・クリスマスコンサート など

※(1)～(5)の各事業の実施回数及び参加者数

年 度		ワークショップ	観 察 会	講 座	実 習	同 定 会	計
平成21年度	件 数	5	1	1	-	1	8
	参加者数	613	56	80	-	76	825
平成22年度	件 数	4	1	-	1	1	7
	参加者数	959	40	-	250	40	1,289
平成23年度	件 数	6	2	2	2	1	13
	参加者数	878	61	34	171	33	1,177
平成24年度	件 数	7	2	2	2	1	14
	参加者数	779	125	52	136	53	1,145
平成25年度	件 数	19	5	1	2	1	28
	参加者数	1,336	200	14	244	61	1,855
平成26年度	件 数	19	2	1	3	1	26
	参加者数	1,398	87	17	125	72	1,699
平成27年度	件 数	23	5	7	3	1	39
	参加者数	2,296	134	95	135	41	2,701
平成28年度	件 数	24	5	10	3	1	43
	参加者数	2,051	118	107	149	24	2,449
平成29年度	件 数	28	4	12	4	1	49
	参加者数	2,729	98	225	219	42	3,313
平成30年度	件 数	26	4	14	4	0	48
	参加者数	1,990	88	251	148	0	2,477

2・・・学習支援・連携事業

(1)・・・市民の学習支援

来館、電話、電子メールなどを通じて貝類の同定をはじめとする依頼及び各種の質問・相談に日常的に対応している。

平成 24 年度、子どもたちがいつでも自主的に貝や自然について学習ができるよう、西宮市貝類館ホームページに次の3つのコンテンツを加えた。

ア・・・キッズコーナー :ホームページ内のクイズに正解すると貝博士に認定される「クイズに答えて貝博士になろう。」

貝に関する本を紹介する「子ども貝文庫の案内」

イ・・・貝はともだち :貝の誕生と進化、貝のからだ、貝の生息分布と環境、貝と人のつながりについての説明

ウ・・・西宮の貝・自然 :市内で見られる貝、西宮の自然の紹介、解説
貝やカタツムリの調査や報告の仕方及び報告結果のマップでの公開

平成 25 年度から小中学生が、展示に興味を持ち、貝への関心が高まるよう、展示の中から答えを見つけるクイズを印刷したシート(学習シート)の配布を始めている。

(2)・・・館内案内

来館者の要望に応じて展示内容の説明を行っている。

(3)・・・博物館実習生・研修生の受け入れ

博物館の役割の一つとして博物館実習を行うほか、教員研修など各種研修生を受け入れている。

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
博物館実習	近畿大学 2名	近畿大学 2名	近畿大学 1名		
		大阪教育大学 1名	八州学院大学 1名		
教員初任者研修	西宮浜小学校 1名	北夙川小学校 1名	瓦木中学校 2名	大社中学校 2名	
国際交流事務研修	中国紹興市 1名	中国紹興市 1名	中国紹興市 1名		
トライやるウイーク	西宮浜中学校 2名	西宮浜中学校 1名	西宮浜中学校 2名	西宮浜中学校 2名	西宮浜中学校 2名
まちたんけん			西宮浜小学校 11名		西宮浜小学校 10名

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	30年度
博物館実習	近畿大学 1名	近畿大学 1名	京都造形芸術大学 1名	近畿大学 1名	近畿大学 2名
				福山大学 1名	八州学院大学 1名
					甲南大学 2名
教員初任者研修	上甲子園中学校 1名			西宮浜中学校 1名	西宮浜中学校 1名
国際交流事務研修					
トライやるウイーク	西宮浜中学校 1名				
まちたんけん	西宮浜小学校 7名		西宮浜小学校 6名	西宮浜小学校 7名	西宮浜小学校 7名

(4)・・・講師派遣依頼への対応

市内外の団体からの依頼に基づき、小学校の環境学習や生き物観察会、講座などに講師を派遣している。(回数)

	小学校の 環境学習	左記以外のもの	
		観察会・調査	講座など
平成21年度	5	7	2
平成22年度	7	-	1
平成23年度	1	3	4
平成24年度	4	2	1
平成25年度	12	5	1
平成26年度	13	2	2
平成27年度	20	-	1
平成28年度	20	1	2
平成29年度	21	-	1
平成30年度	18	-	4

注1) 小学校の環境学習は、甲子園浜、御前浜、潮芦屋浜で実施している。

第6・・・ 調査研究活動

1・・・ 高田良二(学芸員)

主な研究テーマ

1. 黒田徳米氏記載の貝類、全種についての学名の精査研究
2. 香栢園浜、甲子園浜の河口干潟および潮間帯に生息する貝類調査
3. 人口海浜に生息する外来種の調査と研究
4. エゾバイ上科の分子系統解析と新分類体系の構築

原著論文

- 高田良二・和田太一 (2017). 神戸市兵庫区滝山町で発見された外来微小陸産貝ノハラノイシノシタについて. 兵庫生物学会, 13(3)
- 鈴木武・高田良二, (2017). コハクオナジマイマイの新産地. 阪神貝類談話会. かいなかま, 50(2)
- 鈴木武・高田良二, (2017). 国内外来種コハクオナジマイマイの鳥取県での初記録. 山陰自然史研究, 14:36-38
- 鈴木武・宮井卓人・高田良二 (2017). コウロマイマイの殻における色帯の地理的変異. 兵庫生物学会. 兵庫生物, 13(2)
- 高田良二 (2017). コスジギセルの右巻き個体について. 阪神貝類談話会機関誌. かいなかま, 51(1):14
- 松隈明彦・孔令鋒・高田良二 (2015). 外来種ホンビノスガイと在来種ビノスガイの形態学的分子生物学的特徴と属位. 西宮市貝類館研究報, (9):1-59
- 松隈明彦・Alejandro M.Gonzaga・高田良二 (2015). ヒノデコダキガイの再記載. 西宮市貝類館研究報告, (9):61-78
- 高田良二 (2014). 近年、急速に増加傾向にある香栢園浜のホンビノスガイについて. 阪神貝類談話会. かいなかま, 48(2):11-14
- 山崎友資・高田良二 (2013). 津軽海峡北海道側斜面より採集されたニホンカイエビス. 日本貝類学会. ちりぼたん, 43(1):23-30
- 松隈明彦・孔令鋒・高田良二 (2010). 外来種ホンビノスガイの子生物学的特徴と属位. 日本貝類学会. Venus, 69(1-2):90

学会発表

- 高田良二 (2018) オナガミクリガイの近隣種のミトコンドリア DNA による分子系統解析. 日本貝類学会創立 90 周年記念大会, 東京海洋大学. 東京.
- 宮井卓人・高田良二・鈴木武・浅見崇比呂(2017). DNA によるツルガマイマイ系の分類.

日本貝類学会大会, 和歌山.

高田良二 (2014). 西宮市貝類館データベースシステムの紹介. 日本貝類学会大会, 東京.

松隈明彦・孔令鋒・高田良二 (2010). 外来種ホンビノスガイ *Mercenaria mercenaria* の形態学的・分子生物学的特徴と属位. 日本貝類学会大会, 名古屋.

著書

西田百代・高田良二(分担執筆) (2018). 海のマクロ生物図鑑. 大阪自然環境保護協会, 大阪. 112pp.

高田良二(分担執筆) (2017). 兵庫県生物学会 70 周年記念誌. ひょうごの自然フィールドガイド. 身近な生きものたち. 神戸新聞総合出版センター, 神戸. 176pp.

高田良二(分担執筆) (2017). 兵庫運河の生物. 兵庫運河水辺生物調査会, 兵庫. 14pp.

高田良二 (監修)・Pole Starosta・Jack Senders (2015). 不思議で美しい貝の図鑑. 創元社, 東京. 224pp.

高田良二 (監修)・飯野剛 (2010). ウミウサギ 生きている海のジュエリー. ネーチャーウォッチングガイドブック. 誠文堂新光社, 東京. 225pp.

大原健司・大谷洋子・高田良二 (分担執筆) (2009). 貝はともだちー西宮でみられる貝. 西宮市貝類館, 西宮市. 82pp. 委員等

委員等

西宮市生物多様性地域戦略会議(2012)

環境省生物多様性調査 陸生及び淡水貝類 調査員(2010～)

兵庫運河水辺生物調査会 貝類担当 調査員(2013～)

京都府舞鶴市冠島生物調査 陸生貝類担当 調査員(2016～)

大阪府泉南地区陸産貝類調査 調査員(2017～)

神戸生物クラブ 顧問(貝類)(2010～)

阪神貝類談話会 副会長(2012～)

所属団体

日本貝類学会

兵庫生物学会

神戸生物クラブ

阪神貝類談話会

東京貝類同好会

須磨海岸生物調査研究所

2・・・ 渡部哲也(学芸員)

主な研究テーマ

1. 西宮浜人工島の海岸生物相調査
2. 西宮の陸域、陸水域生物相調査
3. 干潟や砂浜域における甲殻類の生態
4. 西宮の生物写真アーカイブ構築

原著論文(査読有り)

- 渡部哲也・淀 真理・木邑聡美・野元彰人・和田恵次 (2018). 砂浜性スガニ類の関東以南太平洋岸における分布. *Cancer* 27: 7-16.
- 成瀬貫・渡部哲也・吉田隆太 (2017). ムツアシガニ類 6 種の分布と生息環境に関する追加情報, 及び和名の整理. *Fauna Ryukyuna* 35: 17-28.
- 渡部哲也・成瀬 貫・川渕千尋・為後智康・花野晃一 (2016). 大阪湾南部成ヶ島沖で得られたイリオモテメナガオサガニ. *南紀生物* 58 (2): 197-198.
- 逸見泰久・伊谷 行・岩崎敬二・西川輝昭・佐藤正典・佐藤慎一・多留聖典・藤田喜久・福田 宏・久保弘文・木村妙子・木村昭一・前之園唯史・松原 史・長井 隆・成瀬 貫・西 栄二郎・大澤正幸・鈴木孝男・和田恵次・渡部哲也・山西良平・山下博由・柳 研介 (2014). 日本の干潟における絶滅の危機にある動物ベントスの現状と課題. *日本ベントス学会誌* 69(1): 1-17.
- 渡部哲也・淀 真理・木邑聡美・野元彰人・和田恵次 (2013). 近畿地方中南部沿岸域におけるスナガニ属4種の分布-2002 年と 2010 年の比較. *地域自然史と保全* 34 (1): 27-36.

原著論文(査読無し)

- 渡部哲也・逸見泰久, (2017). カリガネエガイに寄生するヒラピンノの生態. *うみうし通信*, 96: 4-5.
- 石田惣・山田浩二・山西良平・和田太一・渡部哲也(2014). 大阪府の汽水域・砂浜域の無脊椎動物および藻類相. *自然史研究* 3 (15): 238-271
- 渡部哲也 (2012). カクレガニにみられる宿主特異性および生活史 ヒラピンノの場合. *Cancer*22: 45-50.

シンポジウム発表

- 渡部哲也 (2018). スナガニ類は巣穴の外で何をしているのか. 研究会 生物の巣穴・巣穴の物理 (名古屋大学)
- 渡部哲也 (2018). 小さな博物館にできること～西宮市貝類館の場合～. 軟体動物多様性学会国際シンポジウム「貝類多様性研究における自然史系博物館の役割」(大阪市立自然史博物館).

WATANABE T.・Y. Henmmi (2017). Life History of the Commensal Pea Crab *Arcotheres* sp. Living in the Bivalve *Barbatia virescens*. International Symposium on Evolutionary Biology of Parasitic and Symbiotic Relationships between Molluscs and Crustaceans (Seto Marine Biological Laboretory, Kyoto University).

学会発表

大角一尋・大角涼斗・大角潤矢・大角美早・和田年史・渡部哲也 (2017).
兵庫県相生湾周辺のカニ類調査～私たちの生まれ育つ地域のカニが知りたくて～.
日本甲殻類学会第 55 回大会(東京大学大気海洋研究所)

著書

渡部哲也(分担執筆) (2017). 兵庫県生物学会, ひょうごの自然フィールドガイド 身近な生きものたち. 神戸新聞総合出版センター, 神戸, 176pp.
渡部哲也 (2014). 海辺のエビ・ヤドカリ・カニ ハンドブック. 文一総合出版, 東京, 104pp.
渡部哲也(分担執筆) (2014). 兵庫県, 兵庫県の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック(貝類・その他無脊椎動物). ひょうご環境創造協会, 神戸, 128pp.
渡部哲也(分担執筆) (2012). 日本ベントス学会 (編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野, 285pp.

委員等

環境省海洋生物レッドリスト甲殻類分科会委員 (2013～2016)
兵庫県レッドデータブック(貴重な野生生物等専門委員) (2013)
大阪府レッドリスト(海岸生物選定ワーキンググループ) (2013)
神戸市レッドデータ改訂推進委員 (2015)
生物多様性ひょうご戦略推進委員 (2016～)
生物多様性和歌山戦略推進調査会調査員 (2017～)

所属学会

日本甲殻類学会
日本ベントス学会
軟体動物多様性学会
南紀生物同好会
沖縄生物学会
兵庫生物学会

第7・・・資料の収集、保管

1・・・標本

当館は、開館以来、黒田徳米博士の標本資料を核として多くの標本を保管、管理しているが、その後も多くの方から寄贈をいただいている。

現在、標本は全てデータベース化し、閲覧、貸出を問わず研究者の利用に供するとともに他の施設での展示に貸し出すなど広く活用されよう取り組んでいる。

平成28年5月には、寄贈を受けた菊池典男氏の貝類標本約1万6千ロットを分類整理し、保管するため1階展示室の西側壁面に収納庫を設置した。

(1)・・・平成21年度以降の主な寄贈者

名和 純氏(那覇市) 平成21年5月20日

沖縄の貝 約1,600ロット

城 政子氏(愛知県扶桑町) 平成21年7月25日

宮古島沖の貝 約400ロット

出口 敏氏(三重県桑名市) 平成22年3月6日

日本近海産貝類 約5,200ロット

池辺進一氏(和歌山県和歌山市) 平成23年2月20日

ナチギセル他 約300ロット

池上律子氏(大阪府枚方市) 平成23年2月21日

和歌山県の貝 約600ロット

千足操三(大阪府池田市) 平成24年1月10日

アラフラ海の貝 約2,800ロット

池田克美(大阪府忠岡町) 平成24年3月16日

日本近海産の貝 約900ロット

石橋恭子(大阪府大阪市) 平成27年2月18日

故菊池典男氏の貝類標本 約16,500ロット

田村和也(大阪府大阪市) 平成28年10月6日

イモガイ 約350ロット

(2)・・・ 標本数

(単位:ロット)

	区 分	黒田徳米標本	菊池典男標本	一般収蔵標本	合 計
平成 21 年 3 月 末	腹足類	10,467	-	31,888	42,355
	二枚貝類	2,212	-	10,468	12,680
	ツノガイ・ヒザラガイ・頭足類	136	-	297	433
	化石類	-	-	249	249
	合 計	12,815	-	42,902	55,717
平成 31 年 3 月 末	腹足類	11,054	13,097	43,497	67,648
	二枚貝類	2,273	3,189	13,631	19,093
	ツノガイ・ヒザラガイ・頭足類	142	211	497	850
	化石類	-	-	2,041	2,041
	合 計	13,469	16,497	59,666	89,632

(3)・・・貸出の状況

平成 21 年度～30 年度までの標本の目的別、貸出先の状況は次の通りである。

目的	貸出先
研究	九州総合大学研究博物館 貝類多様性研究所 2件 東北大学理学部千葉研究室 国立科学博物館動物研究部 国立科学博物館分子生物多様性研究センター 岡山大学農・水系保全 3件 個人7件
展示	西宮市子育て総合センター (株)ディーレック 県立人と自然の博物館 2件 能勢町立図書館 たつの市立埋蔵文化財センター 姫路市立水族館 芥川緑地資料館 ミュージアムパーク茨城県自然協会 甲子園浜自然環境センター 3件 伊丹市昆虫館 飯田市美術博物館 瀬戸内海環境保全知事・市長会議 こども環境活動支援協会 日本大学生物資源 県立人と自然の博物館 神戸大学大学教育推進機構 高槻市立自然博物館 にしわき経緯度地球科学館 兵庫県立長田高校 (株)LIXIL 個人1件
写真撮影	個人3件
意匠	神戸女学院 個人1件
教材	西宮市立今津小学校
鑑定	神戸税関摩耶埠頭出張所
合計	47件

2・・・図書

黒田徳米博士の残された図書・別刷りに加え、購入や寄贈を受けることなどにより年々その内容が充実してきている。

これらの図書・別刷りについては、全てデータベース化を図り、閲覧、貸出等に供している。

平成23年度には2階事務所の書架を固定式から移動式に変更するとともに4棚から6棚に増設した。

項 目		平成21年3月末現在	平成31年3月末現在
図 書		約 2,700冊	約 3,200冊
別 刷 り	国内	約 6,000部	約 8,000部
	国外	約 4,000部	約 4,500部

第8・・・ 出版

学術研究の成果を発表する場として「研究報告書」を発刊するとともに、研究者の利用に供するため当館収蔵標本の「目録」を順次発刊している。

この2冊はほぼ隔年で毎年どちらかを発刊している。

また、毎年1回、貝類館のことを広く知ってもらうため、貝にまつわる話題や貝類館の近況をお知らせするリーフレット「海辺からのたより」を発行している。

このうち「研究報告書」と「目録」は、10周年を記念して平成21年に出版した「貝はともだち」とともに、貝類館ホームページや民間の雑誌新聞カタログなどで積極的に紹介し、有料で販売している。

1・・・ 出版物

(1)・・・研究報告書

これまでの1号～6号に続き毎年3月に7号～9号を発刊した。

発行年	号数	掲 載 内 容	著者名
平成23年	第7号	現生タマガイ科の分類検討	鳥越 兼治
			稲葉 明彦
平成25年	第8号	四国のキセルガイ科(腹足綱・柄眼目)	多田 明
			大原 健司
			大谷 洋子
平成27年	第9号	外来種ホンビノスガイと在来種ホンビノスガイの形態学的・分子生物学的特徴と属位 ヒノデコダキガイの再記載	松隈 明彦
			孔 令鋒
			高田 良二

(2)・・・収蔵標本目録

これまでの1号～2号に続き毎年3月に3号～7号を発刊した。

発行年	号数	掲 載 内 容	編集者名
平成23年	第3号	黒田徳米博士標本目録4 海産腹足綱(2)	大谷 洋子 高田 良二
平成24年	第4号	山本愛三氏寄贈標本目録(1) 海産腹足綱	高田 良二 大谷 洋子
平成26年	第5号	山本愛三氏寄贈標本目録(2) 二枚貝綱・非海産腹足綱	高田 良二
平成28年	第6号	堀越増興氏寄贈標本目録(1) 多板綱・掘足綱・二枚貝綱	高田 良二 渡部 哲也
平成29年	第7号	堀越増興氏寄贈標本目録(2) 腹足綱(1)	渡部 哲也
平成30年	第8号	堀越増興氏寄贈標本目録(3) 腹足綱(2)	渡部 哲也

(3)・・・海辺からのたより

これまでの1号～14号に続き毎年7月に15号～23号を発行した。

発行年	号数	掲 載 内 容						
		表 紙	2ページ	3ページ	4～5ページ	6ページ	7ページ	8ページ
平成21年	15号	ナガトカケガイ	黒田徳米博士が記載した貝⑩ オカダミガキマイ	西宮の自然⑩ 仁川今昔の感	西宮市貝類館の10周年	紙上学習⑩ 歯舌の話	トビックス⑩ 黒田博士が採した貝が60年後に新種記載されました	西宮市貝類館話題あれこれ 10周年記念誌「貝はとちだち」西宮で見られる貝115種
平成22年	16号	カミナリサザエ	黒田徳米博士が記載した貝⑩ ヨモスガライモガイ	西宮の自然⑩ 大阪湾生き物一斉調査って何？	自然の造形美*魅力ある貝たち カリブ海のカタツムリ	紙上学習⑩ 貝の中で生活するカニのはなし	展示コーナー紹介⑩ 大阪湾の貝	貝と人との関わり⑩ 貝ボタン 須磨海浜水族園広告
平成23年	17号	ショウジョウラ	黒田徳米博士が記載した貝⑩ オモイガケナマイ	西宮の自然⑩ 武庫川渓谷ハイキング道	自然の造形美*魅力ある貝たち アツキガイ科の貝たち	紙上学習⑩ どうしてカタツムリはスルスルの液を出すのか？	展示コーナー紹介⑩ 粟津貝塚(滋賀県大津市)	西宮市貝類館話題あれこれ 5月4日夙川河口生き物観察会
平成24年	18号	イジンノユメハマグリ	黒田徳米博士が記載した貝⑩ イシバシウミウサギ	西宮の自然⑩ 仁川市民緑地(阪神仁川自然植物園跡地)	自然の造形美*魅力ある貝たち 砂浜にまぎれた宝石 微小貝の世界	紙上学習⑩ オウムガイの形の規則性	展示コーナー紹介⑩ クリオネ水槽	西宮市貝類館話題あれこれ 西宮市貝類館収蔵標本及び収蔵図書データベース検索システムの紹介
発行年	号数	表 紙	2～3ページ	4ページ				
平成25年	19号	黒田徳米博士が記載した貝 リュウキウダカラ(琉球宝)	ソデボラの仲間たち	西宮市貝類館話題あれこれ 南三陸町環境活用センター復興支援展を開催しました。				
平成26年	20号	黒田徳米博士が記載した貝 ウネサンゴドリガイ(アツキガイ科)	イタヤガイの仲間たち	西宮市貝類館話題あれこれ ～西宮市貝類館開館15周年～				
平成27年	21号	黒田徳米博士が記載した貝 ワカウラツボ(カワグチツボ科)	干潟の巻貝	西宮市貝類館話題あれこれ ～西宮市貝類館顧問就任にあたって～				
発行年	号数	表 紙	2ページ	3ページ	4～5ページ	6ページ	7ページ	8ページ
平成28年	22号	イナズマママアグマキ	黒田徳米博士が記載した貝21 イナズマママアグマキ ウロコガイ科の貝類	西宮の海岸動物1	干潟の二枚貝	紙上学習 干潟ってどんな場所？	西宮市貝類館 年間の催し	西宮市貝類館は博物館相当施設になりました
平成29年	23号	ヨシダカワザンショウ	黒田徳米博士の記載した貝22 ヨシダカワザンショウ カワザンショウガイ科の貝類	西宮の海岸動物2	マンガローブの貝類	紙上学習 マングローブとは？	西宮市貝類館 年間の催し	西宮市貝類館は今年3月、一部リニューアルしました。
平成30年	24号	アブラキヌタレガイ	黒田徳米博士の記載した貝23 アブラキヌタレガイ キヌタレガイ科の貝類	西宮の海岸動物3	食用になる二枚貝	紙上学習 貝をたべる	西宮市貝類館 年間の催し	「西宮の自然」コーナー

(4)・・・20周年記念誌

開館 10 周年を記念して出版した「貝はともだち」(現在は欠品)に続き、新たに開館 20 周年を記念して、生きものウォッチングなどで手軽に利用できる「西宮の貝」を発刊した。

- ・ 仕様 ポケット版、 70 ページ、 オールカラー
- ・ 部数 2,000 部
- ・ 販売価格 1 冊 300 円

2・・・ 販売状況

出版物は、貝類館で販売するほか、鳥羽水族館、西宮市生活協同組合に委託して販売している。平成 21 年度～30 年度までの販売冊数は次の通りである。

(冊数)

冊子名	発行年度	貝類館	委託販売		合 計	
			鳥羽水族館	生 協		
貝はともだち (10周年記念誌)	平成21年度	533	50	45	628	
研究報告	第1号	平成13年度	3	0	0	3
	第2号	平成14年度	10	0	0	10
	第3号	平成15年度	7	0	0	7
	第4号	平成17年度	18	13	0	31
	第5号	平成19年度	59	27	0	86
	第6号	平成20年度	87	91	0	178
	第7号	平成22年度	53	59	0	112
	第8号	平成24年度	47	45	0	92
	第9号	平成26年度	12	20	0	32
	小 計	—	296	255	0	551
標本目録	模式標本	平成8・9年度	19	10	0	29
	第1号	平成16年度	17	11	0	28
	第2号	平成18年度	18	11	0	29
	第3号	平成21年度	9	27	0	36
	第4号	平成23年度	25	31	0	56
	第5号	平成25年度	26	19	0	45
	第6号	平成27年度	16	19	0	35
	第7号	平成28年度	13	11	0	24
	第8号	平成29年度	12	11	0	23
	第9号	平成30年度				
小 計	—	155	150	0	305	
合 計		984	455	45	1,484	

注 1) 現在、「貝はともだち」「研究報告第 1 号・第 2 号・第 3 号・第 5 号」は欠品。

注 2) 欠品の冊子については貸出対応している。

第9・・・ 広報

展覧会、イベント等に関する情報は市政ニュースやプレスリリース、毎月の貝類館イベント案内、広報掲示板、さらにはホームページなどを通じてきめ細かく行っている。

また、さくらFM やBayコミュニティTV の取材や一般の情報誌等からのイベント情報の提供要請にも積極的に対応している。このうちホームページと一般の情報誌等への情報提供の状況は次の通りである。

1・・・ ホームページ

西宮市ホームページ <https://www.nishi.or.jp>

平成 10 年に開設された西宮市ホームページにイベント情報を掲載し、周知に努めている。

西宮市貝類館ホームページ <https://www.shellmuseum.jp>

平成 16 年、施設情報やイベント情報など貝類館を総合的に紹介する独自のホームページを開設した。さらに、平成 27 年 4 月より貝類館ホームページと Facebook をリンクし、きめ細かな情報発信を開始。

2・・・ 情報誌等への情報提供

(WEB)

媒体名	発行者
TOYRO倶楽部サービスガイドブック	TOYRO倶楽部
阪神沿線「こどもMAP」	阪神電鉄
関西文化ワークショップフェスティバル事業への登録	関西広域機構文化・観光事業本部
カーナビ向け駐車場「入口」情報	(株)ラムゼス
サンケイリビング新聞社・H.P.「えるこみ」	サンケイリビング新聞社
兵庫県博物館協会・H.P.	兵庫県博物館協会
ぐるっと神戸	神戸隣接市町長懇話会
生活情報プラザ情報コーナー	兵庫県立神戸生活創造センター
神戸市H.P.「六甲散歩」	神戸市広報課
観光・イベント情報提供サイト	協同組合インフォメーションテクノロジー関西
るるぶ観光データベース	JTB
阪神沿線おでかけMAP	阪神電鉄
サンケイリビング新聞社・WEBサイト「リビング兵庫」	サンケイリビング新聞社
ひょうごの環境学習広場H.P.	(公財)ひょうご環境創造協会
ASA西宮.com	(株)アサヒウイニング社
ゼンリンWEBサイト	(株)ゼンリン
阪急電鉄H.P.・沿線おでかけ情報	阪急電鉄
Kiss Press	Kiss FM KOBE
あにあん倶楽部	阪神南県民センター
芦屋人HP内特集記事	芦屋人～あしやびと～
ROAD HINTS(カーナビ)	本田技研工業(株)
休日プランたてる君・施設情報	(株)メイカス
Webマガジン【comepass】	カジカジ 編集部
「学研キッズネット」「全国科学館ガイド」	(株)学研プラス
WEBサイト ひょうごツーリズムガイド	(公社)ひょうごツーリズムガイド

(広報誌・情報誌)

媒 体 名	発 行 者
まいふれクーポン	まいふれ西宮・芦屋
シティライフ	(株)シティライフNEW
情報誌ぱど	(株)阪神ぱど
情報誌「宮っこ」	西宮コミュニティ協会
夏休み思い出レシピ	阪急電鉄・大阪市交通局
月刊「清流」	清流出版(株)
西宮・まちを旅する博覧会	西宮まち旅博覧会実行委員会
エルマガMOOK「家族で休日お出かけ本」	京阪神エルマガジン社
西宮ウォーカー/家族でお出かけ便利帳	(株)KADOKAWA
(社)兵庫県宅地建物取引協会広報誌「広報」	(社)兵庫県宅地建物取引協会
サンケイリビング新聞社・情報誌「あんふあん」	サンケイリビング新聞社
サンケイリビング新聞社・情報誌「あんふあん」	サンケイリビング新聞社
旅の手帖ムック	(株)交通新聞社
チケットブック西宮版	城北宣広(株)
サンケイリビング新聞社・シティリビング	サンケイリビング新聞社
カジカジ	カジカジ編集部
ともも	(有)ともも
阪急沿線情報誌 TOKK	(株)阪急コミュニケーションズ
CO・OP ステーション	生活協同組合コープこうべ
どこいこ観光関連ガイド	(株)旅行出版社
兵庫県広報誌「ニューひょうご ごこく」	兵庫県
阪神南県民センターガイドマップ	阪神南県民センター
Richer別冊「子ども&家族、友達と。おでかけの本」	京阪神エルマガジン社
ビバ！ニュータウン	ビバ！ニュータウン編集室
ぐるり西宮・芦屋・東灘・灘	(株)ウエストプラン
地域情報サイトまいふれ西宮	(株)アンプリン
阪神手帖	阪神電鉄
青少年にしのみや写真ニュース	西宮市青少年施策推進課
西宮 Walker ザ・ベスト	(株)KADOKAWA
リビング新聞	サンケイリビング新聞社
阪神沿線情報誌「ホッと！HANSIN」	阪神電鉄
阪急沿線インフォメーション(社内中吊りポスター)	阪急電鉄
UR賃貸住宅 生活情報誌「URara通信」	都市再生機構 西日本支社
ぱるたん	神戸製鋼グループ
淡路信用金庫創立80周年記念誌	淡路信用金庫
フリーペーパー「サイクル」	(株)ピクニック社
関西・中国・四国じゃらん	(株)リクルートライフスタイル

(図鑑・カタログ等)

媒体名	発行者
雑誌新聞総カタログ	メディア・リサーチ・センター(株)
貝の図鑑&採集ガイド	実業之日本社
兵庫県博物館協会・博物館ガイド	兵庫県博物館協会
自然史博物館事典	日外アソシエーツ(株)
ときめく貝殻図鑑	(株)山と溪谷社
全国博物館総覧	(公財)日本博物館協会
ニッポン貝人列伝	LIXIL出版

西宮市貝類館リニューアルの報告

第1 リニューアルに至る経緯

故菊池典男氏は、公的な貝類専門の博物館の建設を関係方面に熱心に働きかけ、また氏が引き継ぎ、大切に保管していた黒田博士の貴重な標本、文献類一式を寄贈するなど西宮市貝類館の開設に力を尽くされた。このため、氏を顕彰することが長年の懸案であった。

こうした中、平成27年2月にご遺族から氏のコレクションのほぼ全部に当たる約1万が寄贈された。

これを端緒に、同年3月に「菊池典男コレクション展 ～西宮に生まれ貝を追い求めた生涯～」を開催し、あわせて、氏の功績を顕彰するためのリニューアルを行うことが決定した。

また、リニューアルに際しては、平成11年5月の開設以来、一度も本格的な変更をしたことがない常設展示についても検討を加え、西宮の海辺の展示について見直しを行うこととなった。

第2 リニューアルの内容について

1 菊池典男氏の功績を顕彰するコーナーの新設

菊池典男氏は、黒田徳米博士の研究活動を援け、かつ深い親交を結ばれた。また、黒田徳米博士の標本や文献等の貴重な資料一式は氏を通じて西宮市貝類館に寄贈された。お二人は共に西宮市貝類館の最大の功労者であり、この関係がよく分かるよう、コーナーは黒田コーナーの北側に並んで設けることとした。

また、パネルのデザインや展示ケースについては、黒田コーナーに合わせ、全体的な調和を計った。

(1) 菊池典男氏コーナー

パネルには菊池典男氏の永年に渡る貝類蒐集に関する内容を年表化し、経歴や功績を分かり易く解説紹介した。また、菊池氏の想い入れの深い奄美大島での医療ボランティアの活動や貝収集とのエピソードなども詳しく記述している。

パネルの下の展示ケースには、1984年～2010年に氏が個人で開設されていた菊池貝類館のパンフレットや陳列写真など当時の貴重な資料を展示した。

また、菊池氏が日本で初めて香櫛園浜で発見したコウロエンカワヒバリガイ(当時亜種)や、菊池氏のゆかりの双眼実体顕微鏡、奄美大島での採集記など計16点を展示した。



(2) 黒田徳米博士コーナー

パネルは、これまで展示していた内容に写真等一部を新たに加え、功績等のエピソードの追記と、生涯のトピックスである昭和天皇との黒田徳米博士との御親交の詳細等を分かり易く解説紹介した。

また、この機会に黒田徳米博士のことをより広く市民に知ってもらえるよう、菊池典男氏コーナーとの間に動画モニターを設置し、博士の生い立ちや貝との出会い、人となりを紹介している。

菊池コーナーの新設に伴い、壁にかけていた賞状等の大部分は撤去せざるを得なかった。しかし、黒田徳米博士にとって一番感慨深いと思われる 1987 年に昭和天皇が黒田徳米博士に直々に詠まれた「おほみ詩」の額は、モニター上部の壁に掲げている。



(3) 黒田徳米・菊池典男 標本展示ケース

これまで、寄贈いただいたものの黒田徳米博士の標本は、一般に展示したことがなかった。今回、菊池典男氏のコレクションを寄贈いただいたことを契機に、市民にも見て知っ

ていただけるよう「黒田徳米・菊池典男 標本展示ケース」をお二人を顕彰するコーナーの対面に設けた。いずれの標本もかなりの数にのぼるため、ケースの標本は定期的に入れ替えていく。

黒田徳米博士の標本は、主に黒田博士ゆかりの記載標本などと共に、現在では採集が困難な高知県沖の貝類標本や陸産貝類など日本産の学術的に価値の高い標本を展示した(標本数 48 点)

菊池典男氏の標本は、自ら世界各地を旅行し蒐集した、世界の珍種や美麗種、菊池氏の思い入れの深かった奄美大島で採集した貝類などを展示した(標本数 47 点)。

2 西宮の海辺のコーナーの拡充

従来、西宮市貝類館(以下、貝類館)の展示スペースのなかで、「西宮の自然」コーナーは館の最奥部に位置していた。このコーナーは展示スペースが狭いうえに西日が当たるため、標本の劣化も激しく補修や改善が必要な状態であった。

そこで今回リニューアルの機会を得て「西宮の自然」を文字通り前面に出した展示を行うこととし、床面地図を挟んで従来比で倍以上の 2 面プラス床面の西宮コーナーを設けた。

(1) 総論「西宮の自然」

いわゆる総論にあたる展示であり、パネル一面に西宮市域全体を俯瞰したイラストを展開した。山から海に至る市内の特徴的な自然環境を表現し、甲山や甲子園浜など特筆すべき場所については拡大して示した。

この西宮のイラストは、自動ドアのガラス越しに外からも見える位置にあり、外に向けたアピールの役割も果たしている。



(2) 各論「西宮の海辺」

「夙川河口・甲子園浜・人工護岸」

西宮の特徴的な浜辺について場所ごとに解説した展示。自然豊かな浜辺である夙川河口と甲子園浜について、景観及び生息する海岸動物についての違いを解説した。近年夙川河口で確認されているハクセンシオマネキについては特徴的な生態である「ウェービング」と呼ばれる踊りを収めた動画をモニターにより常時放映している。

これら自然豊かな海岸と対比するように「人工護岸」の解説コーナーも設けた。

解説パネルの下には西宮で記録された貝を含めた海岸動物の標本を展示した。各分類群の展示数は魚類5点、甲殻類20点、多毛類1点そして貝類が33点。



「水辺の鳥」

夙川河口、甲子園浜ともに渡り鳥の中継地として機能しており、四季を通じて様々な水鳥が飛来する。特に甲子園浜は鳥獣保護区域に指定されている。西宮を訪れる鳥について、写真とともに解説した。下部に環境省が提供する甲子園浜の渡り鳥飛来数をもとに作成したグラフを掲載し、季節ごとの移り変わりを示した。

なお、掲載写真は杉田義彦氏に提供いただき、展示文章は二河正氏の協力のもと作成した。

「海浜植物」

夙川河口と甲子園浜は大阪湾奥部できわめて数少ない海浜植物の生息域であり、これ

らについて代表的な種類を掲載し、解説した。写真については NPO 法人海浜の自然環境を守る会および阪口正樹氏に提供いただき、解説文については阪口正樹氏に執筆いただいた。

「外来生物」

都市部の海では避けられない問題である海の外来種問題について解説。西宮で記録された外来種と、その主な侵入経路についても紹介。

「生体展示」

西宮で見られる海岸動物について、干潟、河口および汽水域に生息するものを生体展示した。これらのうち、ハクセンシオマネキについては県外の個体数が多い地域から採集した。

水辺の鳥

Waterside Birds

西宮の水辺は集積地である鳥の生息地を多量に有している。鳥はハシロアシやアシカツシギなどのシギ、チドリ類が主である。灘にはコサザサシが主である。冬から春にかけての渡り鳥である。冬は水辺のシギやチドリ類などが主である。灘にはコサザサシなどが主である。冬から春にかけての渡り鳥である。灘にはコサザサシなどが主である。冬から春にかけての渡り鳥である。

西宮の水辺の鳥

西宮に渡来する鳥類

海浜植物

Coastal Plants

近工新築によって海岸はさびしい環境である。海水が干上がり、灘も砂にしみ込んで乾燥する傾向がある。そのため、塩害に強い植物が生育している。灘にはコサザサシなどが主である。冬から春にかけての渡り鳥である。灘にはコサザサシなどが主である。冬から春にかけての渡り鳥である。

西宮の海浜植物

大阪湾で数少ない海浜植物生育地

外来生物

Invasive Animals

西宮の海は、特に大阪湾、西に神戸湾といった瀬戸内海が影響するため、外來生物の侵入が容易である。特に、西宮では多くの外來生物が記録されている。灘にはコサザサシなどが主である。冬から春にかけての渡り鳥である。灘にはコサザサシなどが主である。冬から春にかけての渡り鳥である。

西宮の外来生物

海の外来生物が来るしくみ

(3) 床地図

180 cm × 240 cm のリノリウム製床地図を総論と各論の間に展開した。総論とも重なるが、より詳細な自然環境を 30 地点示した。

人口 50 万人近い西宮市の 100 km² に及ぶ面積の半分以上は山間部であり、人口密集地である海岸部との二面性をもつ。総論部での導入の後で具体的な場所を確認する事が主な狙いであるが、一面の大きな地図を見ることによって、市内各地点の距離感を把握できる。

(4) 陸産・淡水産貝類

西宮の多様な自然という観点から、海だけでなく山、川に生息する貝を「総論」パネルの下に展示している。

「西宮のカタツムリ」

大小あわせ約 70 種類が生息する西宮のカタツムリのうち、代表的なもの 44 種類を展示した。その中には、分布的に西宮市が西限に当たるイセノナミマイマイのような貴重な種類も含まれている。

「西宮の淡水貝」

豊かな自然の残る武庫川・有馬川・船坂川などの各河川や、西宮市北部山口町の湖沼などに生息する 13 種類の西宮市産淡水貝類のうち 12 種類を展示した。展示に当たっては、甲山周辺の清んだ水に好んで生息するモノアラガイなど現在希少となった貝も紹介している。

3 その他

静かで落ち着いた雰囲気の中館内に一定の変化をもたらす、来館者の関心を引くよう次の改善を行った

- ①遠くからでも内容が分かるよう各コーナーにバナーを設置
- ②マーメイド号の説明板の更新

第3 外部識者との意見交換会の実施

リニューアルに当たっては、当館が立案した構想に基づいて職員と事業者との間で展示内容を固めていったが、それをより充実させ、今後の利用促進につながるものとしていくためには、外部の方の意見を聴くことが必要である。

このため、次の通り、これまでに西宮市貝類館をさまざまな立場で利用している方々との意見交換会を実施した。

日 時:平成28年10月9日(日) 午後2時～4時

会 場:西宮浜公民館 第2集会室

出席者:12名

生物、野鳥、貝のそれぞれの在野の専門家3名、

地域で活動するNPO 法人 2 名、理科教諭 2 名、
貝類館のイベント参加者 2 名、地元の西宮浜中学校教諭 1 名、
貝類館運営委員長 1 名、貝類館サポートスタッフ 1 名

第4 記念イベントの実施

リニューアルしたことを広く知ってもらおうとともに、貝類館がこれまで以上に市民に親しまれ、学習やレクリエーションの場として幅広く活用されることを願って、記念イベントを実施した。

日 時:平成29年3月25日(土)

内 容:第1部 学芸員によるギャラリートーク 午後1時30分～
「エントランス」「学習室前」のリニューアル内容の説明

第2部 松本玲子氏によるミュージアムジーク 午後2時～4時
氏が考案し、提唱している、音楽を通して展示や博物館、さらには地球や歴史、環境にまで耳を澄ます、新しいコンサート

予 約:不要

参加費:イベント参加費、入館料とも無料

リニューアル記念イベント

第1部 1:30
ギャラリートーク
エントランス 案内人: 瀬原節由学芸員

- ※ 展示の文意、自然、生活や歴史などこれまでの、そしてこれからの展示に思いをはせるヒントや「自然の物語」。
- ※ 展示の歴史など一層の学びや楽しみが広がる展示です(見学要予約)。
- ※ 展示の生物(「水中の生物」「干潟の生物」)それぞれの生態展示。

学習室前 案内人: 瀬原節由学芸員

- ※ 展示の歴史など一層の学びや楽しみが広がる展示です(見学要予約)。
- ※ 展示の生物(「水中の生物」「干潟の生物」)それぞれの生態展示。

第2部 2:30~4:00
ミュージアムジーク
貝たちと聴く海の旅
ミュージアムワークとは音楽を通して展示や博物館、さらには地球や歴史、環境にまで耳を澄ます、新しいコンサートの形式です。

制作・演奏 松本 玲子
(ミュージアムワーク) 音楽家、博物館学芸員(大塚市立)

Stage.1 (観内コンサート)
マリンミュージアムと貝類館の展示をエレクトーン演奏でお楽しみください。
▶ 貝類館まで歩いてみよう
▶ 展示の歴史や楽しみが広がる展示
▶ 貝類館の展示を聴きながら

Stage.2 (キラキラコンサート「展示の歴史を聴く」)
展示の歴史から聴くまでの音楽に耳を澄まして聴いてみよう。
また、展示の歴史や貝類館の展示から展示の歴史を聴きながら演奏します。

Profile
松本 玲子 Matsumoto Riko
音楽家・博物館学芸員(大塚市立)
ミュージアムワーク「ミュージアムワーク」の考案者。
国際的な音楽家として、NHK TV「NHKみんなのうた」で「海の物語」の作曲者として活躍。また、NHK「NHKみんなのうた」で「海の物語」の作曲者として活躍。また、NHK「NHKみんなのうた」で「海の物語」の作曲者として活躍。

西宮市貝類館
NISHINOMIYA SHELL MUSEUM
〒462-0934 兵庫県西宮市西宮浜4-13-4
☎ 0798-33-4888 Fax 0798-33-5885
※ 休館日: 毎月第1日曜日(祝日を除く) 毎月第2日曜日(祝日を除く) 毎月第3日曜日(祝日を除く) 毎月第4日曜日(祝日を除く) 毎月第5日曜日(祝日を除く) 毎月第6日曜日(祝日を除く) 毎月第7日曜日(祝日を除く) 毎月第8日曜日(祝日を除く) 毎月第9日曜日(祝日を除く) 毎月第10日曜日(祝日を除く) 毎月第11日曜日(祝日を除く) 毎月第12日曜日(祝日を除く) 毎月第13日曜日(祝日を除く) 毎月第14日曜日(祝日を除く) 毎月第15日曜日(祝日を除く) 毎月第16日曜日(祝日を除く) 毎月第17日曜日(祝日を除く) 毎月第18日曜日(祝日を除く) 毎月第19日曜日(祝日を除く) 毎月第20日曜日(祝日を除く) 毎月第21日曜日(祝日を除く) 毎月第22日曜日(祝日を除く) 毎月第23日曜日(祝日を除く) 毎月第24日曜日(祝日を除く) 毎月第25日曜日(祝日を除く) 毎月第26日曜日(祝日を除く) 毎月第27日曜日(祝日を除く) 毎月第28日曜日(祝日を除く) 毎月第29日曜日(祝日を除く) 毎月第30日曜日(祝日を除く) 毎月第31日曜日(祝日を除く) 毎月第32日曜日(祝日を除く) 毎月第33日曜日(祝日を除く) 毎月第34日曜日(祝日を除く) 毎月第35日曜日(祝日を除く) 毎月第36日曜日(祝日を除く) 毎月第37日曜日(祝日を除く) 毎月第38日曜日(祝日を除く) 毎月第39日曜日(祝日を除く) 毎月第40日曜日(祝日を除く) 毎月第41日曜日(祝日を除く) 毎月第42日曜日(祝日を除く) 毎月第43日曜日(祝日を除く) 毎月第44日曜日(祝日を除く) 毎月第45日曜日(祝日を除く) 毎月第46日曜日(祝日を除く) 毎月第47日曜日(祝日を除く) 毎月第48日曜日(祝日を除く) 毎月第49日曜日(祝日を除く) 毎月第50日曜日(祝日を除く) 毎月第51日曜日(祝日を除く) 毎月第52日曜日(祝日を除く) 毎月第53日曜日(祝日を除く) 毎月第54日曜日(祝日を除く) 毎月第55日曜日(祝日を除く) 毎月第56日曜日(祝日を除く) 毎月第57日曜日(祝日を除く) 毎月第58日曜日(祝日を除く) 毎月第59日曜日(祝日を除く) 毎月第60日曜日(祝日を除く) 毎月第61日曜日(祝日を除く) 毎月第62日曜日(祝日を除く) 毎月第63日曜日(祝日を除く) 毎月第64日曜日(祝日を除く) 毎月第65日曜日(祝日を除く) 毎月第66日曜日(祝日を除く) 毎月第67日曜日(祝日を除く) 毎月第68日曜日(祝日を除く) 毎月第69日曜日(祝日を除く) 毎月第70日曜日(祝日を除く) 毎月第71日曜日(祝日を除く) 毎月第72日曜日(祝日を除く) 毎月第73日曜日(祝日を除く) 毎月第74日曜日(祝日を除く) 毎月第75日曜日(祝日を除く) 毎月第76日曜日(祝日を除く) 毎月第77日曜日(祝日を除く) 毎月第78日曜日(祝日を除く) 毎月第79日曜日(祝日を除く) 毎月第80日曜日(祝日を除く) 毎月第81日曜日(祝日を除く) 毎月第82日曜日(祝日を除く) 毎月第83日曜日(祝日を除く) 毎月第84日曜日(祝日を除く) 毎月第85日曜日(祝日を除く) 毎月第86日曜日(祝日を除く) 毎月第87日曜日(祝日を除く) 毎月第88日曜日(祝日を除く) 毎月第89日曜日(祝日を除く) 毎月第90日曜日(祝日を除く) 毎月第91日曜日(祝日を除く) 毎月第92日曜日(祝日を除く) 毎月第93日曜日(祝日を除く) 毎月第94日曜日(祝日を除く) 毎月第95日曜日(祝日を除く) 毎月第96日曜日(祝日を除く) 毎月第97日曜日(祝日を除く) 毎月第98日曜日(祝日を除く) 毎月第99日曜日(祝日を除く) 毎月第100日曜日(祝日を除く)

最新情報はこちら http://shellmuseum.jp/shell_db/

第5 アンケートの実施

記念イベントに際して、松本先生と協同でアンケートを行った。

アンケート内容は下記の通りで、ギャラリートーク、リニューアルについては、「理解できた」「楽しめた」という回答が9割を超え、自由意見では「見やすかった」「分かりやすい」という意見が多かった。

また、ミュージアムジークについては、「展示や博物館への理解や興味が深まった」「地域の民話の朗読も面白い、楽しい」など新しい形のコンサートに賛同する意見が多く寄せられていた。

第6 スケジュール

H27. 2.18	ご遺族より菊池典男コレクションの寄贈
H27. 3.19～ 4.14	菊池典男コレクション展
H27.10	28年度予算要求
H28. 2	展示構成リストの作成
H28. 3	業務委託仕様書の作成
H28. 4	プロポーザル実施要綱の作成
H28. 8	事業者の募集
H28. 8.12	応募書類提出(企画提案書、見積書等)
H28. 8.22	委託業者選定委員会の開催
H28.10. 9	外部識者との意見交換会
H28.11	業務委託契約締結
H29. 3. 8	館内工事着手
H29. 3.22	工事完成
H29. 3.25	記念イベントの開催

西宮市貝類館条例

(平成11年3月24日)

(西宮市条例第33号)

(設置)

第1条 貝類に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、貝類に関する調査研究等を行い、もって市民の教養及び文化の向上に資するため、西宮市貝類館(以下「貝類館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 貝類館は、西宮市西宮浜4丁目13番4号に置く。

(事業)

第3条 貝類館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 貝類に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 貝類に関する調査研究を行うこと。
- (3) 貝類に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 貝類に関し、博物館、学校その他の関係機関と相互協力を行うこと。
- (5) その他市長が必要と認める事業

(職員)

第4条 貝類館に、貝類に関し専門的知識を有する職員を置く。

(観覧料)

第5条 貝類館に入館しようとする者は、[別表](#)に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(観覧料の免除)

第6条 市長は、教育、学術、研究その他の必要があると認める場合は、観覧料の一部又は全部を免除することができる。

(入館の制限等)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者については、入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をする者その他規則で定めるこれに類する者

- (2) 建物、設備、資料等を損傷し、又はそのおそれがある者
- (3) 営利を目的とする行為をし、又はそのおそれがある者
- (4) その他貝類館の管理上必要な指示に従わない者
(原状回復等)

第8条 建物、設備、資料等を損傷し、汚損し、又は滅失した者は、市長の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。
(特別な行為の許可)

第9条 資料の模写、模造、撮影その他これらに類する行為をし、又は資料の貸与を受けようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。
(委任)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から起算して3月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。〔平成11年規則第1号により、平成11年5月7日から施行〕

別表(第5条関係)

区分	大人		子供	
	個人	団体	個人	団体
観覧料(1人1回につき)	200円	160円	100円	80円

備考

- 1 小学校就学前の幼児等の観覧料は、無料とする。
- 2 子供とは、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童をいう。
- 3 大人とは、前項に規定する子供及び小学校就学前の幼児等以外の者をいう。
- 4 団体の観覧料は、20人以上の者が同一の者に引率された場合に適用する。

西宮市貝類館条例施行規則

(平成11年4月26日)

(西宮市規則第4号)

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市貝類館条例(平成10年西宮市条例第33号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 貝類館の開館時間は、午前10時から午後5時までとする。ただし、入館時間は、午後4時30分までとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 貝類館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、臨時にこれを変更し、又は休館することができる。

- (1) 水曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する国民の祝日に当たる場合はその翌日)
- (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで(前号に規定する日を除く。)

(観覧料の免除)

第4条 条例第6条の規定による観覧料の全部の免除を受けることができる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 市が主催し、又は他の地方公共団体等と共催して行う文化、学習等の行事の参加者として入館する者
- (2) 市が主催する施設見学会の参加者として入館する者
- (3) 教育上の目的のため入館する市内の小学校、中学校その他これらに準ずる教育機関の児童又は生徒及びこれらの者の引率者
- (4) 学術研究の目的のため入館する大学等の研究者
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める者

2 観覧料の免除を受けようとする者(前項第1号及び第2号に該当する者は除く。)は、あらかじめ観覧料免除申請書を市長に提出し、その承認を受けなければならない。この場合において、市長が観覧料免除申請書の提出を必要ないと認めるときは、これを省略することができる。

(入館の制限等に係る行為)

第5条 条例第7条第1号に規定するその他規則で定めるこれに類する者は、次に掲げる者とする。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をするおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となり、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物を携帯する者

(特別な行為の許可の手續等)

第6条 条例第9条の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、条例第9条の許可をしたときは、特別利用許可書を交付するものとする。
- 3 市長は、条例第9条の許可をするときは、資料の保存のため必要な条件を付することができる。

(資料の貸与の許可)

第7条 条例第9条の規定による資料の貸与の許可は、次条各号のいずれかに該当するときを除くほか、次に掲げるときにすることができる。

- (1) 条例第3条第4号に掲げる事業に使用するとき。
 - (2) その他市長が必要と認めるとき。
- 2 前項の許可の期間は、30日以内とする。

(特別な行為の許可の制限)

第8条 次の各号のいずれかに該当するとき、条例第9条の許可をすることができない。

- (1) 展示等のため貝類館で資料を必要とするとき。
- (2) 資料の使用の方法その他が資料を損なうおそれがあるとき。
- (3) 著作権のある資料にあつては、著作権者の同意を得ていないとき。
- (4) 寄託された資料にあつては、寄託者の同意を得ていないとき。
- (5) その他市長が適当でないとき。

(特別な行為の許可の取消し等)

第9条 市長は、条例第9条の許可を受けた者が許可の条件に違反したとき、若しくはそのおそれがあるとき、又は貝類館の運営上必要があると認めるときは、当該許可を取消し、停止し、又は資料の返還を命じることができる。

(資料の寄贈及び寄託)

第10条 資料を寄贈又は寄託しようとする者は、市長に申出なければならない。

2 市長は、貝類館の運営上必要があると認めるときは、前項の申出を受けることができる。

3 寄託を受けた資料は、特別の契約があるときのほか、市所有のものと同様の取扱いをする。

(委任)

第11条 この規則に定める申請書その他の書類の様式及びこの規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

付 則

この規則は、平成11年5月7日から施行する。

西宮市貝類館
「10年間(平成21～30年度)のあゆみ」

令和2(2020)年3月

編集 西宮市貝類館
発行者 西宮市文化振興課・西宮市貝類館
〒662-0934 西宮市西宮浜4-13-4
TEL:0798-33-4888 FAX:0798-33-5885
e-mail:nishikai@nishi.or.jp
https://www.shellmuseum.jp/shell_db/